

JAF 第 25 回 全日本フットサル選手権大会兵庫県大会

- 1 大会名称 JFA 第 25 回全日本フットサル選手権大会兵庫県大会
- 2 主 催 (公財) 日本サッカー協会
- 3 主 管 (一社) 兵庫県サッカー協会 フットサル委員会
- 4 日 時 & 場所
10 月 19 日 (土) アスパ五色
20 日 (日) アスパ五色
26 日 (土) アスパ五色
27 日 (日) アスパ五色
12 月 07 日 (土) アスパ五色
08 日 (日) アスパ五色
14 日 (土) 高砂市総合体育館
- 6 参加資格
 1. 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独チームであること。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 2. 第 1 項のチームに所属する 2004 年 4 月 1 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 3. 外国籍の選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
 4. 他の府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。
 5. 選手及び役員は、複数のチームで参加できない。
 6. チームの選手は、スポーツ傷害保険に必ず加入していること。
 7. 都市協会のチームで、各都市協会から推薦されたチーム、関西フットサルリーグ、兵庫 TOP リーグ、兵庫フットサルリーグ・兵庫フットサル施設からの推薦チームであること。
 - ・尼崎 0 ・北摂 0 ・西宮 0 ・芦屋 0 ・神戸 0 ・明石 0
 - ・東播 0 ・北播 0 ・姫路 0 ・西播磨 0 ・丹有 0 ・但馬 0
 - ・淡路 0 ・関西リーグ 3 チーム、兵庫 TOP リーグ 24 チーム、
 - ・ミドル・兵庫県リーグチーム 数チーム但し、参加しない都市協会がある場合は、他へ振り分けるものとする。
 8. 兵庫トップリーグ Div1 の第 6 節(9/14)終了時、1 位のチームは準々決勝から 2 位から 7 位チームは 2 回戦から参加できるものとする。
 9. 組合せ抽選は、フットサル委員会で決定する。
- 7 競技方法
 - ①ノックアウト方式とする
 - ②試合時間 20-10-20 (プレーイングタイム)
フレンドリー 15-5-15 (ランニングタイム)
但し、同点の場合は PK 方式、但し、準決勝においては延長 10 分 (前後半各 5 分) を行い同点の場合は PK 戦にて決定する。
尚、フレンドリーにおいては延長、PK はなしとする。

- ③ 20m×40mのピッチの大きさとする。
- ④ 大会使用球は、JFA 検定フットサルボールを使用する。
- ⑤ 各チームは、前後半1回ずつタイムアウト（1分間）を取ることが出来る。
フレンドリーはタイムアウトありません。
- ⑥ 競技者の数は5名、交代要員の数は9名以内、ピッチ上でプレー出来る外国籍選手
の数は2名以内とする。
- ⑦ チームの役員は5名以内（ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6名
以内とする。

8 競技規則

- ① 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。
- ② 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、
それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。

9 表彰

- 1位、2位、3位に表彰状を授与する。
上記3チームは、令和2年1月（日時は下記）JFA 第25回全日本フットサル選手権大会
関西大会に出場する義務と権利を有する。
1月4日（土）大阪岸和田、5日（日）堺原池、19日（日）大阪千島

10 大会参加料

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1・2回戦 チーム参加料 | 16,000円 |
| 3回戦 進出チーム参加料 | 10,000円 |
| 準々決勝進出チーム参加料 | 5,000円 |
| 関西リーグチーム参加料 | 25,000円（トップ1部1位チームも同額） |

12 その他

- ① ユニフォームについては、FP、GKともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフ
ォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を申込書に記載し、各試合には正副ともに必
ず携帯すること。
- ② チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別
しうるものであること。
- ③ FPとして試合に登録された選手がGKに変わる場合、その試合でGKが着用するシャツ
と同一の色彩および同一のデザインで、且つ、自分自身の背番号のついたものを着用す
ること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号をつけること。
ショーツにも演習番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る
色彩であり、且つ、判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ KO時に5名に満たない場合は棄権扱いとする。
試合開始時のメンバー登録でGKは2名登録されていること。但し、パワープレー用
キーパーユニフォームが用意されればその限りではない。
選手番号は整数で1から99を使用し、0は認めない。
1番はGKの為に用意される。
必ず、大会登録表に記載された選手固有の番号を付ける。また、パワープレーにおいて
はGKと同じユニフォームで背番号はプレイヤー固有の番号でなければならない。GKを
2名用意するかパワープレー用ユニフォームが用意されていないチームが怪我以外の

理由で GK の退場などがあった場合は、FP が退場された GK に代わり出場するユニフォームは、相手チームのユニフォームの色と判別できるフィールドプレイヤー副(サブ)のユニフォーム(自身の番号)で出場するか、退場された GK のユニフォームを用いて、その背番号を出場する選手の背番号と審判員が読み替えて続行終結させる。

この場合、試合の結果は、ユニフォーム不備での終結続行であり、本来不備のチームは規定違反であるので、スコアに関わらず棄権扱いとする。

- ⑥ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。但し、ユニフォーム広告表示により会場等への広告掲出料の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦シューズ、体育館シューズ(底が白または飴色)、靴底は接地面が飴色または白色のものとするが、シューズ自体に「ノンマーキング」表示があるものについては靴底面が黒色を含まないものであれば使用可能とする。
フットサルシューズで、スパイクおよびイボイボ状のトレーニングシューズは不可(ベンチ入りの役員も同様とする)
- ⑧試合中、練習中を問わず場内外の器物破損が発生した場合は、当該チームにおいて弁済するものとする。
特定できない場合は、出場全チームで責任を負うこと。
場内外の負傷発生の処置は、当該チームにおいて行い、協会は一切の責任を負わない
- ⑨当該チームの試合開始前に両チーム代表者、審判員、マッチによるマッチコーディネーションミーティングを行う。前の試合がある場合は、そのハーフタイム終了後、第一試合は試合開始の30分前に、ユニフォーム(正・副)、メンバー表、選手証を持参して、試合当日受付で指示される場所で行う(時間厳守)
- ⑩選手証などの未提出で、試合が一方のチームの責に帰すべき理由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームの記録は抹消する。
選手証未提出とは、当該試合のKOされる時間までとする。
- ⑪会場の試合前のボールを使用したアップスペースはありませんので、体育館周辺及び体育館空きスペースでのボール使用はしないでください。
また、体育館外の周辺でアップをする場合は、必ず靴の履き替えをしてください。
- ⑫各会場、ピッチ以外でボールを蹴るスペースはありませんのでボールは持ってこないこと。(練習用ボールは協会で準備いたします)
- ⑪ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認められない。